

ライフケアガーデン湘南 特定入居

症 例 概 要 利用者:80代 女性 要介護4

利用期間:令和2年9月～現在

経過:転倒アセスメントスコアシート:危険度Ⅲ アルツハイマー型認知症 拒否にて3年間内服無し

生活介護の為入居される。介護拒否がとても強く意思疎通も困難。ユマニチュードを実践し、ライフ湘南での生活環境に慣れ、転倒されることなく、笑顔で穏やかな生活を送ることができた事例

内 容

2世帯住宅で息子夫婦と夫と4人で生活をしていました。平成30年頃から少しずつ外出することや、自宅での生活が難しくなり、病院への受診や服薬もできなくなってきた。夫は奥様(利用者さん)に「近所に迷惑をかけたくない」とご自身で抱え込みながら、奥様の介護をしてきました。しかし、症状は進行し脳梗塞の疑いもあり、R2年9月に入居となりました。

入居されてすぐ、徘徊があり、落ち着く様子はなく、他の入居者さんの部屋に入ってしまうことや、時に職員を叩くこともあり、常に職員が側で見守りをすることが日常でした。意思疎通も困難で、大きな声を出されたり、テーブルを叩くことなどもありました。食事は食べないことも多く、全介助にて召しあがられていました。ベッドでお休みの際でも、立ち上がりは頻回であり、転倒リスクからダイルームで見守りを余儀なくされていました。夜間帯は床や廊下、トイレ内に寝ていることも見受けられました。排泄は拒否が強くトイレは困難、便秘の時はさらに不穏状態になりました。

介護・看護、ケアマネジャー合同カンファレンスを開催。不穏症状の緩和を目的とし、ご家族に相談させていただきました。

普段は座高が低く深く座れる椅子に座っていることが多いことがわかり、同じような椅子を用意したところ、落ち着いて座っていただくことができました。以前より徘徊が少なくなり、同テーブルの入居者さんと談笑される姿を見ることが出来ました。ユマニチュードをチーム内で実践し、チームにて視線を合わせる・触れるを意識したところ、入浴拒否も少なくなりました。また、ご自身でお箸を持ちご自身で召し上がることも多くなり笑顔も出るようになりました。フロア内を散歩されることが増え、居室内はフリーと

しました。以前はふらつきがあり転倒リスクもありましたが、ADLも徐々に上がり、ふらつきなどはありません。夜間もよくお休みになられるようになりました。

排便の際は現在でもご機嫌が悪くなりますが、その際はNSと協力をし排便のコントロール・察知ができるようになりました。

入居されてから、半年ほどになりますが、ご家族が面会に来られるたびにご本人の様子をみて「とても安心している。笑顔が増えて、こんなに変わると思わなかった」と、とても喜んでいました。

これからも、少しでも笑顔で安心して生活が送れるように、ユマニチュードを実践していきます。また、職員も効果を実感するとともに自信にもなりました。今後も多様な場面でさらに笑顔を多く見られる様に支援していきたいと思えます。